令和４年６月２日
熊本県バレーボール協会
中学部会

令和4年度熊本県中学選抜バレーボール選手権大会
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

今大会は、本ガイドラインに則り、感染拡大予防対策を行います。来場するすべての方々（参加校はもちろん、応援者も含む）におかれましても、本ガイドラインを遵守し、感染拡大予防対策を徹底して頂きますようお願いします。

本ガイドラインは、次のガイドライン等を踏まえて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることを承知おきください。

・「学校の新しい生活様式」文部科学省
・「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」スポーツ庁
・「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
　日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会
・内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報等
・「（公財）日本中学校体育連盟　全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」（公財）日本中学校体育連盟

1 大会実施に当たっての基本的な考え方

大会の実施に当たっては、前述のガイドライン等を参考に、熊本県中学選抜バレーボール大会実施の基本的な考え方に基づき、熊本県中学校体育連盟共催大会であることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策を講じることとします。

【 大会実施に当たっての基本的な考え方 】
・感染源を絶つ
・感染予防の3つの基本（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い等の徹底）
・3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
・安全な活動環境等の確保

2 大会実施時の感染予防策について

※ 主催者：大会本部や競技運営者（熊本県バレーボール協会、同中学部会）
※ 引率者等：引率者、監督、コーチ、その他学校関係者

（1）感染源を絶つ

① 主催者は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等を、大会に参加させない方針を各学校に事前に周知する。なお、新型コロナウイルスに感染した場合の対応については、保健所等の指示等により各学校長の判断によるものとする。

② 主催者は、各校の選手や引率者等の1週間分の体調を記録した体調記録表（別紙1）の記録を求め、各学校、各家庭における健康管理を徹底する。

③ 主催者は、大会当日受付時に、学校同行者大会当日体調記録表（別紙2）を提出させ、選手や引率者の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。

④ 主催者は、学校同行者大会当日体調記録表（別紙2）に記載された者以外の来場者に対し、来場者体調記録表（別紙3）の提出を求めるとともに、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。

⑤ 引率者等は、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。

⑥ 主催者及び引率者等は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

（2）感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保

ア コロナ禍の状況を考慮して、競技開始式は実施しない。

イ 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。

ウ 主催者及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手を繋いだり、肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

② マスクの着用

ア 主催者は選手、引率者等及び大会関係者にマスクの準備を求め、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスクを着用することを徹底する。その上で、大声を上げてのかけ声や指導、声援を控えることとする。

イ 主催者は、活動中や気候の状況等により、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すように指導する。

ウ 引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

③ 手洗い等の徹底

ア 主催者は、選手、引率者等及び大会関係者がこまめに手洗いを行うことができるよう、施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を配置するとともに、代表者会や監督会議、または場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。

イ 主催者は、参加者に手洗い後に手を拭くためのマイタオル等を持参するよう周知する。

ウ 引率者は大会期間中、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

（3）3つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避

① 大会会場への入場は主催者に許可された者を原則とし、その他の入場者については、施設管理者関係機関と連携し、感染状況に合わせて主催者が判断する。（なお、大会関係者は3密の状況とならないよう、運営上の工夫を行うこととする。）

② 引率者等は、バスによる移動の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気をしたり、乗車人数を減らすなどの工夫をする。

③ 主催者は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。制限人数については、施設管理者と連携し、それぞれの会場において決定する。また、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

④ 主催者は屋内で実施する競技において、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。

⑤ 主催者及び引率者等は、大会会場のベンチ、待機場所や食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面を避け、会話は控えるよう指導する。必要に応じて控え室を準備するなどの対応も考えられる。

⑥ 参加チーム及び個人は原則として試合時間にあわせて来場し、試合終了後は速やかに帰宅する。

⑦ 主催者は、応援者（保護者、応援生徒等）を会場に入場させる場合には、応援場所や応援の決まりなどを監督会議及びホームページなどを利用して事前に明示し、周知徹底を図る。それを受けて引率者等は、来場する応援者に周知徹底を図る。

（4）安全な活動環境等の確保

① 主催者は、参加校に対して大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。

② 大会会場へ入場する応援者については、来場者体調記録表（別紙3）を記録の上、来場日毎に主催者に提出する。

③ 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率者等や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておくこととする。

④ 主催者は、大会会場施設と感染拡大予防対策について、事前に打ち合わせを行う。

⑤ 主催者及び引率者等は、各競技特性に応じた、適切な感染拡大予防対策を講じる。

3 その他

大会への出場については熊本県教育長発出「文部科学省『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル』による感染症対策の実施について（通知）」をもとに各学校において判断をすること。